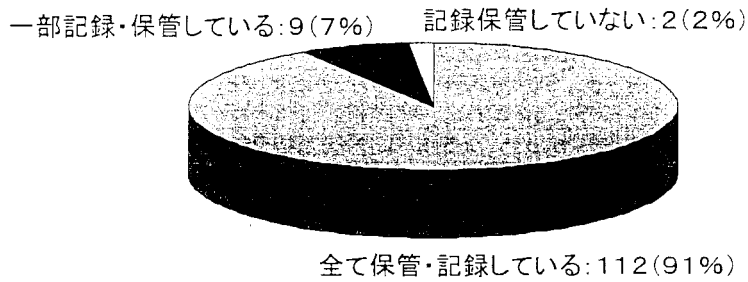


## ICUにおけるヒヤリ・ハット事例に関するアンケート調査（平成 17 年度）

<sup>1</sup>日本集中治療医学会危機管理委員会、<sup>2</sup>日本集中治療医学会看護部会  
行岡秀和<sup>1</sup>、池田寿昭<sup>1</sup>、石川清<sup>1</sup>、川前金幸<sup>1</sup>、谷川攻一<sup>1</sup>、宮内善豊<sup>1</sup>、  
池松裕子<sup>2</sup>、大草智子<sup>2</sup>

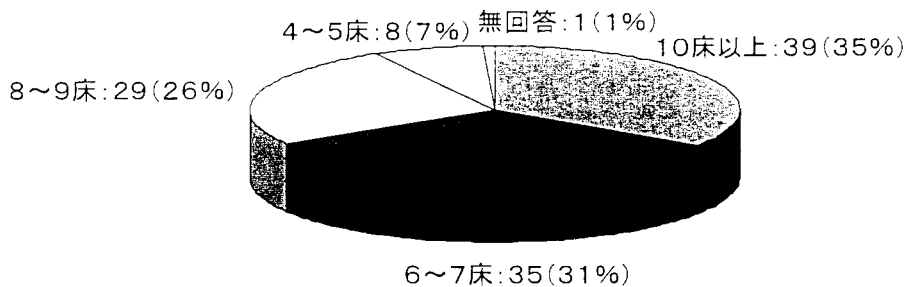
ICU はヒヤリ・ハット事例が発生しやすい医療現場と考えられるが、その実状は明らかではない。2005 年 8 月、日本集中治療医学会危機管理委員会と看護部会は合同で、日本集中治療医学会専門医研修施設（190 施設）に対して「ICU におけるヒヤリ・ハット事例に関するアンケート調査」を行い、123 施設（65%）より回答を得た。90%以上の施設が「ICU で生じたヒヤリ・ハット事例を全て記録・保管している」と答えた。報告者は看護師が圧倒的に多く、「医師の割合は 9%以下」の施設がほとんどであった。ヒヤリ・ハットの中ではレベル 1 が最多であり、レベルが高いほど夜勤帯に発生する傾向があった。全ヒヤリ・ハット発生率／患者／日は、1%未満：20%、1%～2%：27%であったが、10%以上の施設も 11%あった。点滴、輸液（輸液剤の選択、流量ミス等）に関するヒヤリ・ハット発生率／患者／日は高く、「1%以上」が 20%の施設にみられた。20%以上の施設で輸液ラインの予期せぬ抜去が月に 1 回以上おこった。人工呼吸器の停止、IABP のバルンカテーテル破損等がわずかではあるが発生していた。

問1 ICUで生じたヒヤリ・ハット(インシデント)事例を記録・保管していますか(保管場所はICU、リスクマネジメント委員会等いずれでもかまいません)。

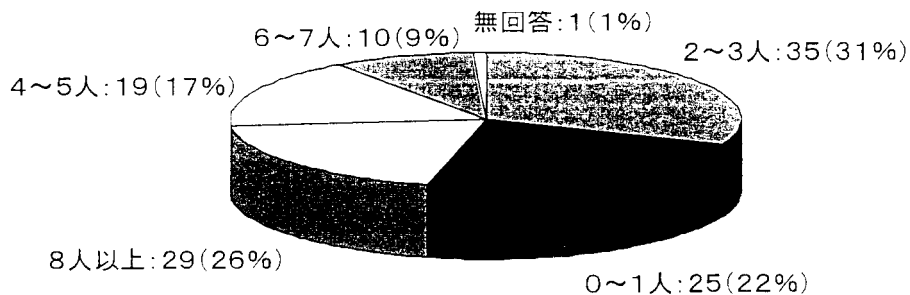


以下の質問は、問1において「a」と回答した施設におたずねします(「bあるいはc」と回答した施設はこれで終了です。)  
「a」と回答した施設は本年1月1日-5月31日の5ヶ月間の記録に基づいて回答願います(5ヶ月間に人員等に変動があった場合は、平均値を記載願います)。施設によってはハイケアユニット(HCU)などを併設している場合があると思いますが、今回の調査ではICUのみについて回答してください。

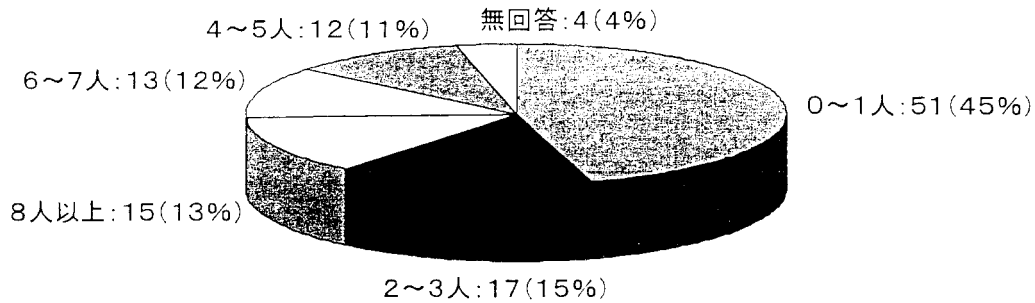
問2 貴院のICUベッド数は何床ですか。



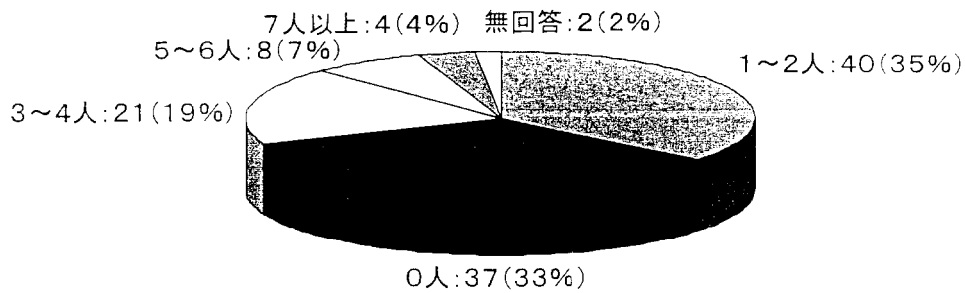
問3 ICU専従医は何人ですか(専従医とは2・3日/週以上ICUで勤務している医師を指す(研修医は含まない))。



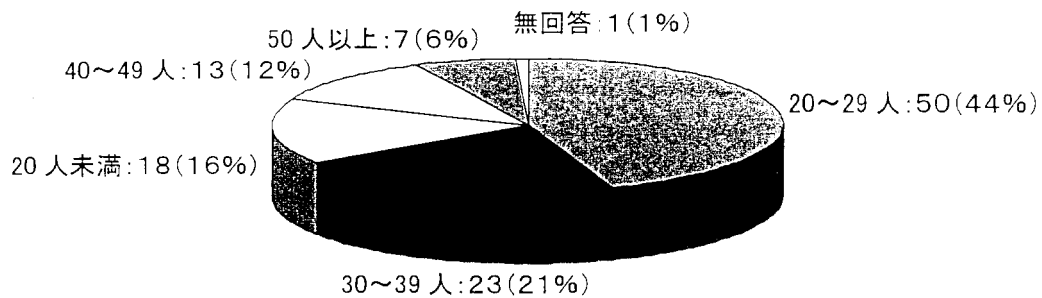
問4 ICU兼任医師は何人ですか（他科で主に勤務しているが、1日/週程度ICUで働いている医師を示す。緊急コールやコンサルトのみに対応している医師は含まない）。



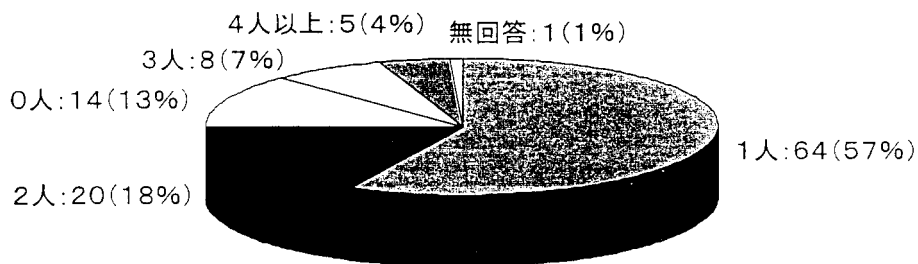
問5 ICUで勤務する研修医は何人ですか（本年1月～5月にICUに専従した研修医の1ヶ月の平均数。四捨五入してください）。



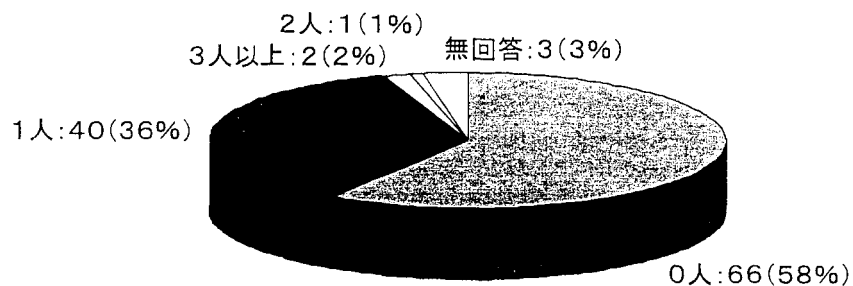
問6 ICU看護師は何人ですか。



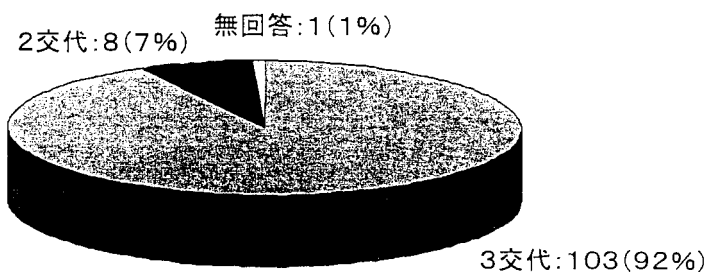
問7 ICU看護助手は何人ですか。



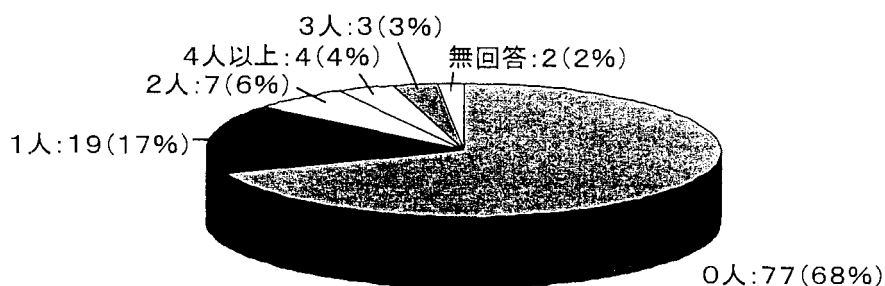
問8 ICU クラークは何人ですか。



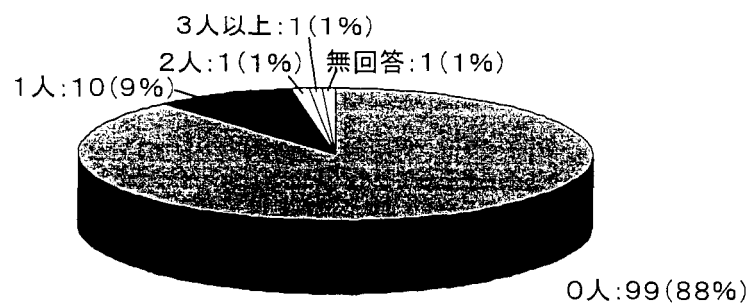
問9 ICU 看護師の勤務体制は次のうちどれですか。



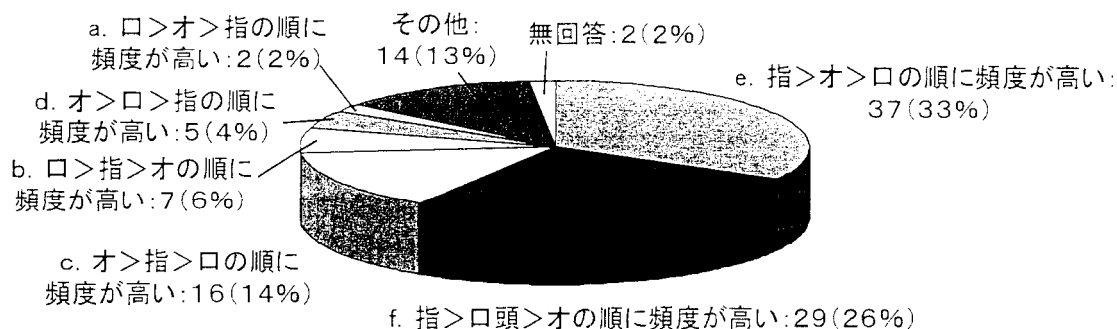
問10 ICUで常勤している臨床工学技士は何人ですか。



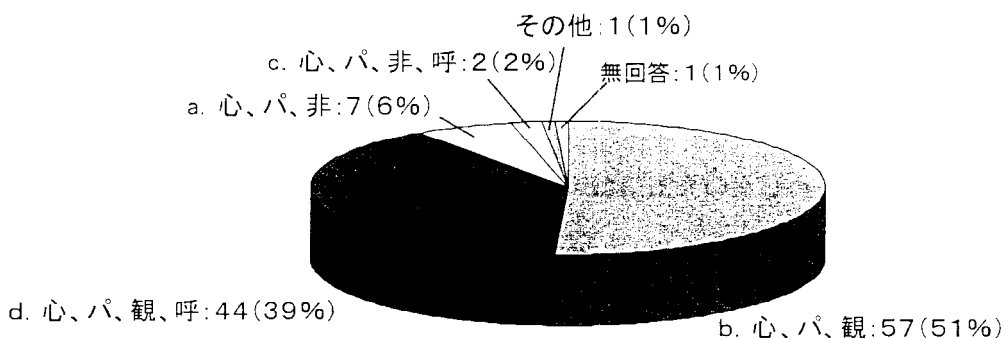
問11 ICUで常勤している薬剤師は何人ですか。



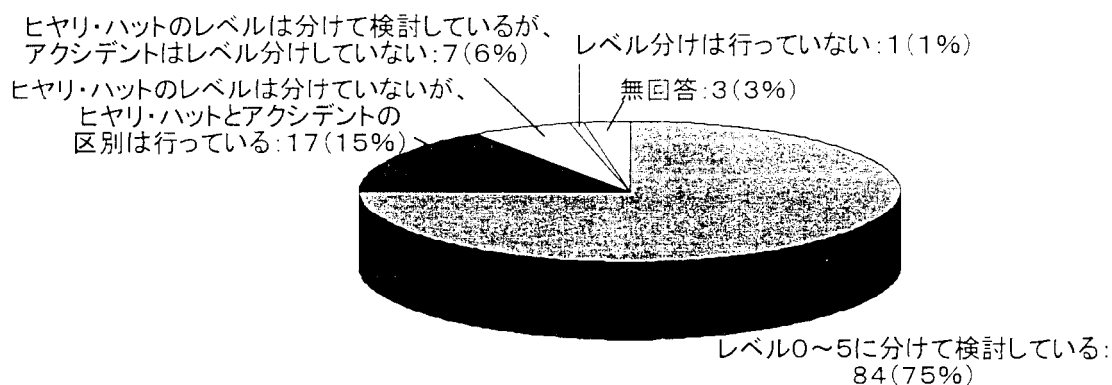
問 12 医師から看護師への指示方法（口頭：口、オーダリング：オ、指示簿：指）についておたずねします。



問 13 人工呼吸中のモニタリングは以下のいずれでしょうか（ただし観血的動脈圧モニタリングには非観血的動脈圧測定を含みます）。（心電図：心、パルスオキシメーター：パ、観血的動脈圧：観、非観血的動脈圧：非、呼気炭酸ガス濃度：呼）

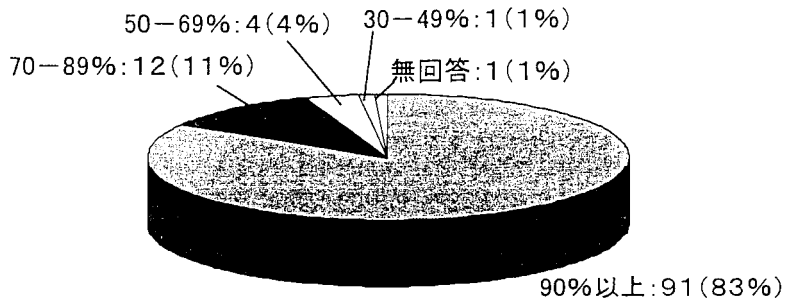


問 14 ヒヤリ・ハット（インシデント）、アクシデントのレベルについておたずねします。

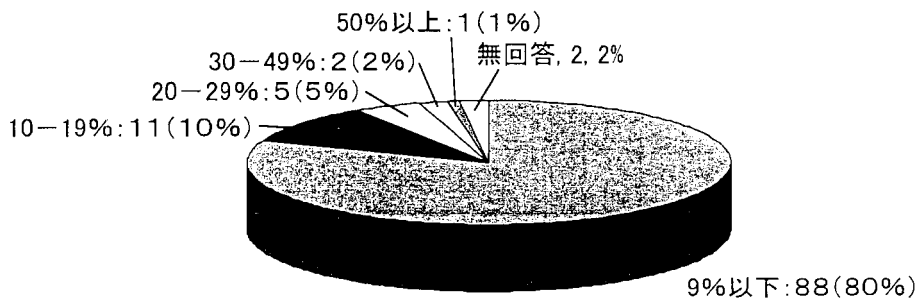


以下の質問は、問 14 において「a、b、c」と回答した施設におたずねします。「d」と回答した施設はこれで終了です。

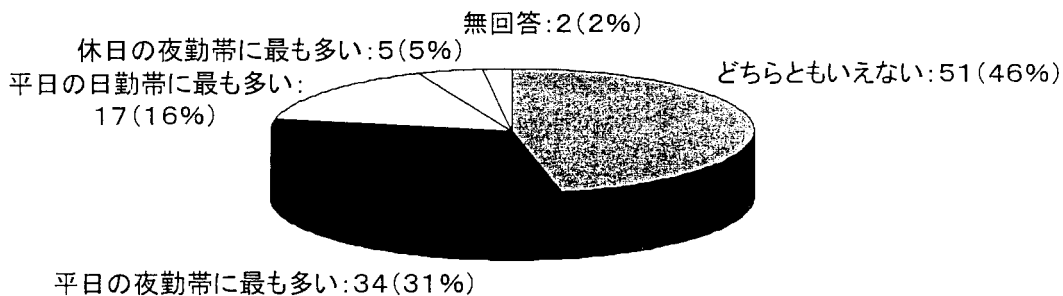
問 15 ICUにおけるヒヤリ・ハットの報告者のうち看護師の割合はどれぐらいですか。



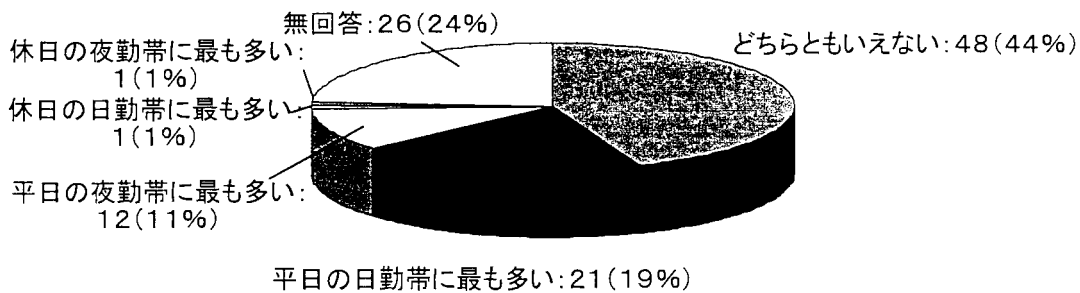
問 16 ICUにおけるヒヤリ・ハットの報告者のうち医師の割合はどれぐらいですか。



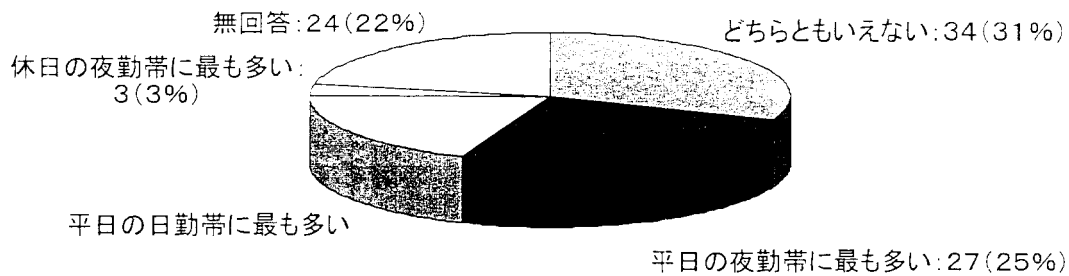
問 17 ICUにおけるヒヤリ・ハットの発生時間についておたずねします。



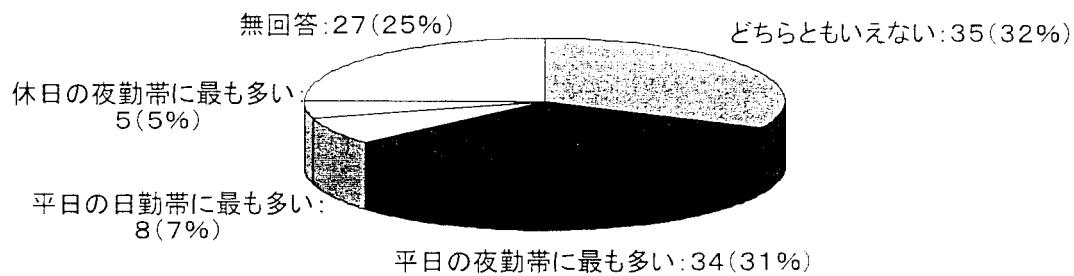
問 18 問 14 で「a または b」と回答した施設に、「レベル0」のヒヤリ・ハットの発生時間についておたずねします（問 14 で「c」と回答した場合は無回答を選んでください）。



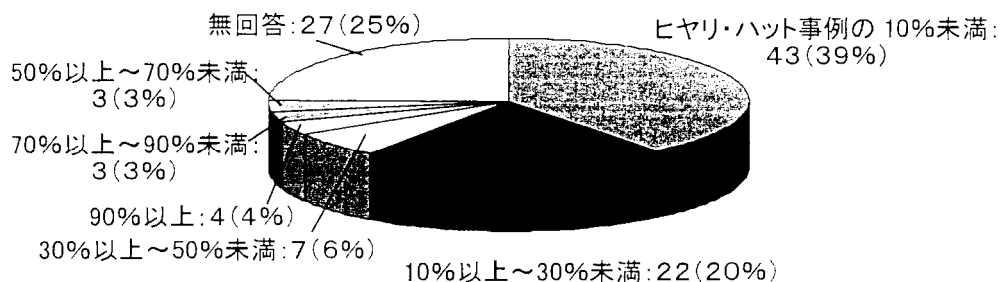
問 19 問 14 で「a または b」と回答した施設に、「レベル 1」のヒヤリ・ハットの発生時間についておたずねします。問 14 で「c」と回答した場合は無回答を選んでください。



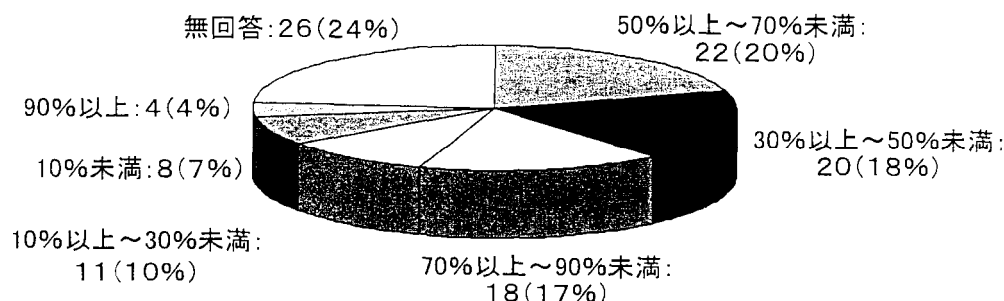
問 20 問 14 で「a または b」と回答した施設に、「レベル 2」のヒヤリ・ハットの発生時間についておたずねします。問 14 で「c」と回答した場合は無回答を選んでください。



問 21 問 14 で「a または b」と回答した施設に、「レベル 0」のヒヤリ・ハットの発生頻度（ヒヤリ・ハット事例全体に対する割合）についておたずねします。問 14 で「c」と回答した場合は無回答を選んでください。

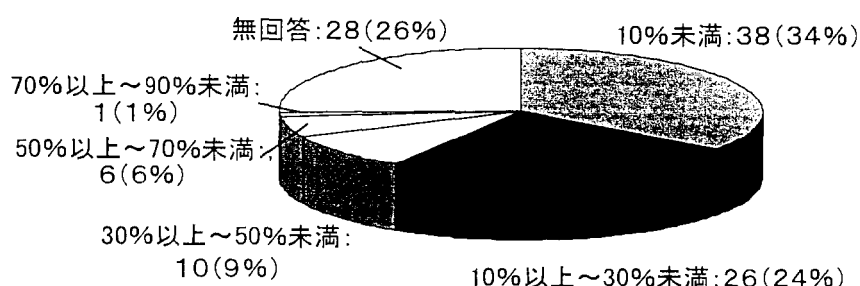


問 22 問 14 で「a または b」と回答した施設に、「レベル 1」のヒヤリ・ハットの発生頻度（ヒヤリ・ハット事例全体に対する割合）についておたずねします。問 14 で「c」と回答した場合は無回答を選んでください。



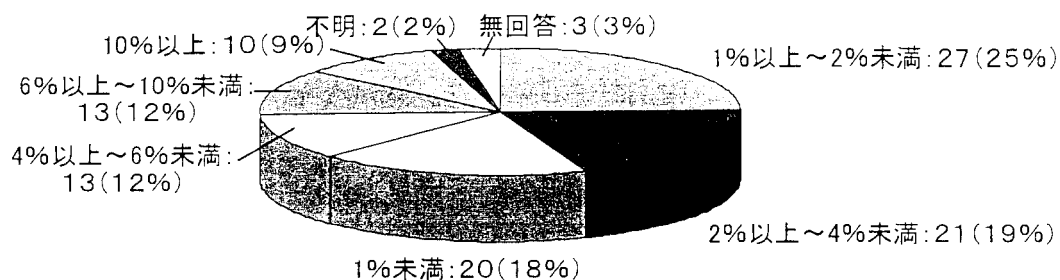
問 23 問 14 で「a または b」と回答した施設に、「レベル 2」のヒヤリ・ハットの発生頻度（ヒヤリ・ハット事例全体に対する割合）についておたずねします。問 14 で「c」と回答した場合は無回答を選んでください。

以下の質問では、1日、1患者あたりのヒヤリ・ハット発生率をおたずねいたします。お手数ですが、5ヶ月間の総数を151日で割り、さらに貴院のICUベッド数で割り、さらにその値を5ヶ月間のICUの平均満床率で割っていただき、ついで100を掛けていただきたく存じます。ヒヤリ・ハット発生率/患者/日 = (総事例数 ÷ 151 ÷ ICUベッド数 ÷ 平均満床率) × 100 (%)。例えば、薬剤投与に関するヒヤリ・ハットが5ヶ月間に40例あり、ICUが10床、平均満床率が90%であれば、ヒヤリ・ハット発生率/患者/日 = (40 ÷ 151 ÷ 10 ÷ 0.9) × 100 = 2.94% となります。よろしくお願いいたします。ヒヤリ・ハット発生率の計算は負担に感じられる場合もあると思いますが、本調査の目玉であり、また、自施設の発生頻度を知ることができること、本調査結果と比較することにより、自施設の現状を把握することができる利点があります。重ねてよろしくお願いいたします。なお、以下のヒヤリ・ハット分類は、貴施設の分類と異なる場合があると思います。記載困難な場合はご連絡願います。

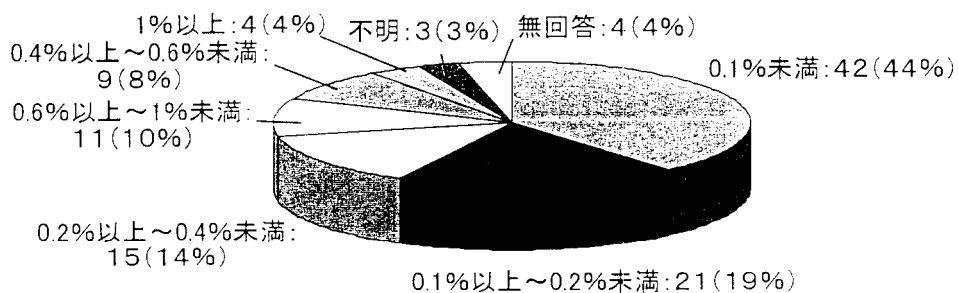




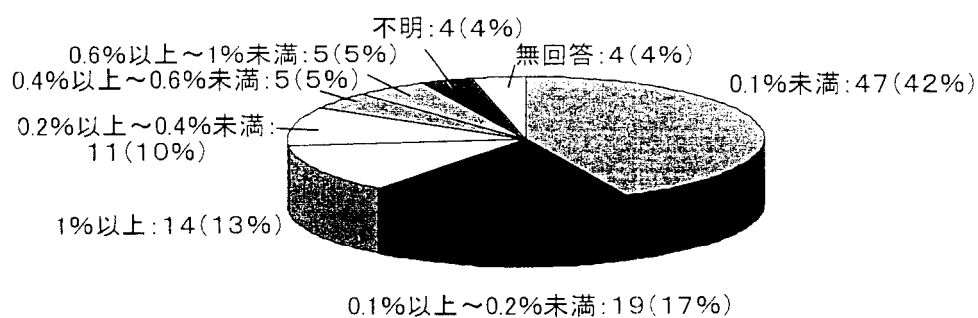
問 24 ICUにおけるすべてのヒヤリ・ハット発生率/患者/日はどれくらいですか。



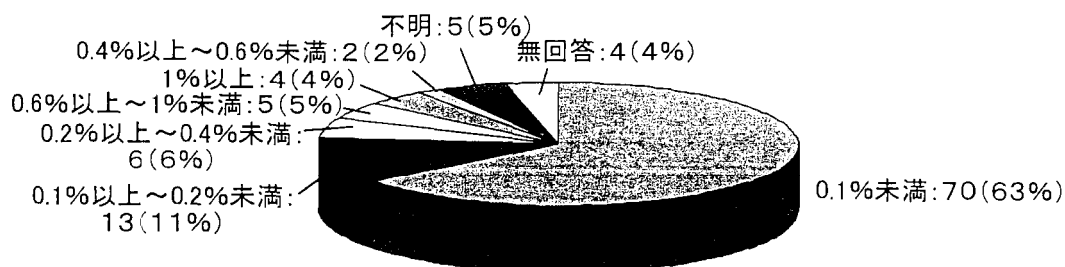
問 25 ICUにおける呼吸（人工呼吸器、酸素投与などを含む）に関するヒヤリ・ハット発生率/患者/日はどれくらいですか。



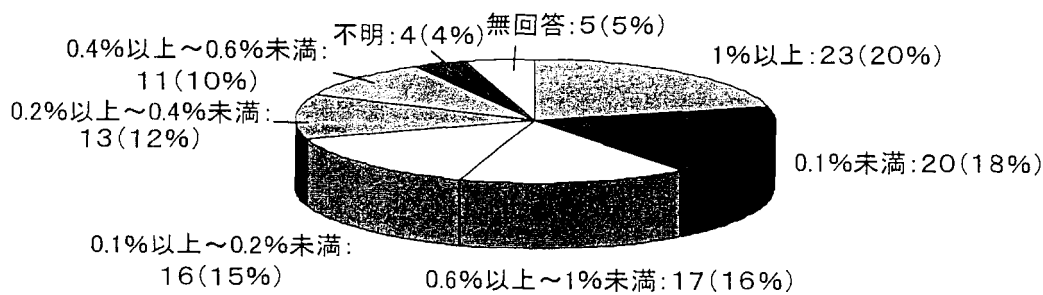
問 26 ICUにおける注射（一回静注；輸液チューブラインからのものを含む）に関するヒヤリ・ハット発生率/患者/日はどれくらいですか。



問 27 ICUにおける採血（動脈血；輸液ライン、動脈ラインからのおのを含む）に関するヒヤリ・ハット発生率/患者/日はどれくらいですか。



問 28 ICUにおける点滴、輸液（輸液剤の選択、流量ミスなどを含む）に関するヒヤリ・ハット発生率/患者/日はどれくらいですか。



問 29 ICUにおける輸血（交差試験を含む）に関するヒヤリ・ハット発生率/患者/日はどれくらいですか。

